

# 機能保全計画書

伊保庄漁港（第1種）

平成26年2月

漁港管理者：柳井市

## 1. 漁港の概要

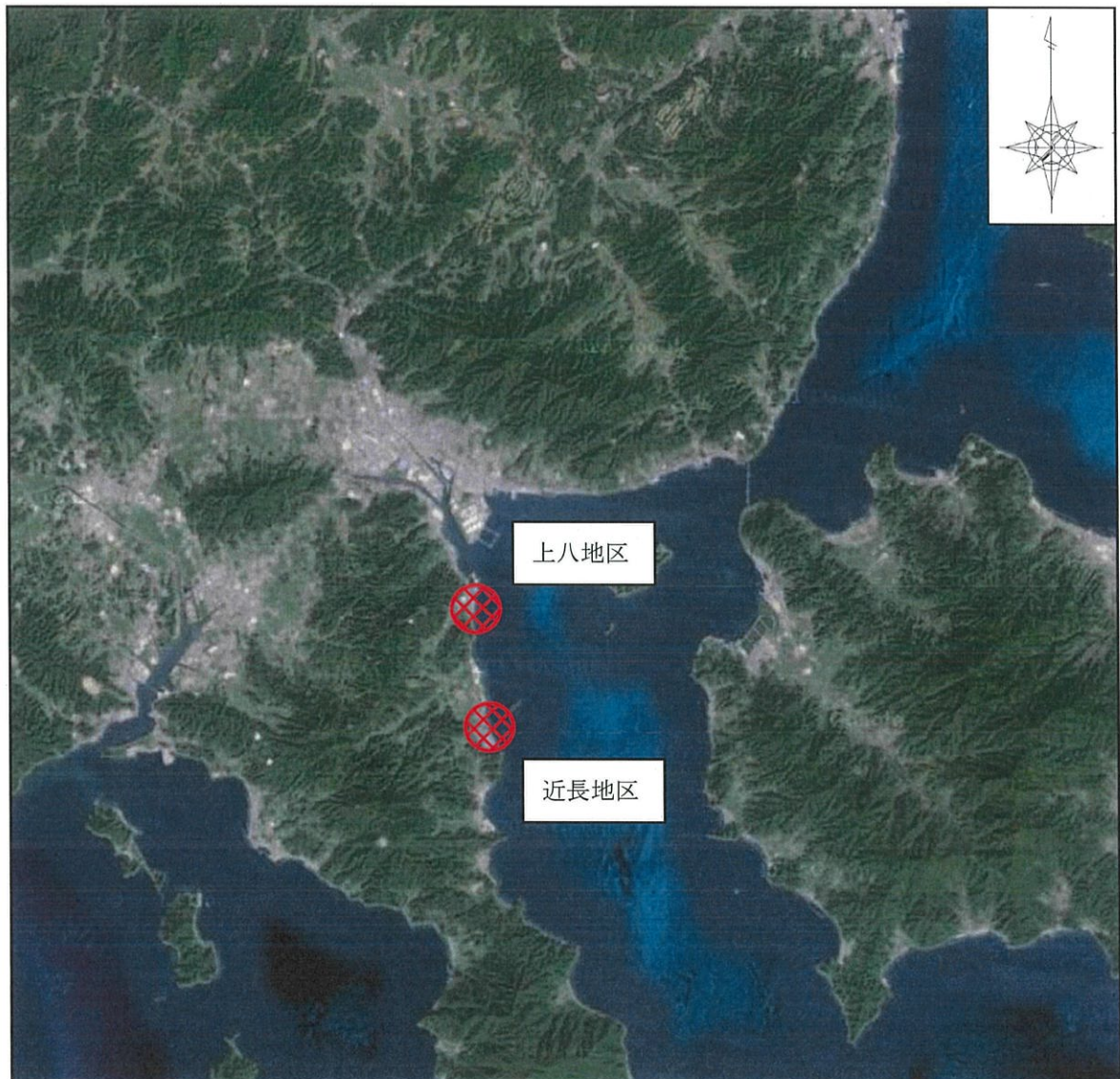
### 1) 地区名(漁港名)

室津半島地区(伊保庄漁港)

### 2) 位置図等

都道府県名	山口県	漁港管理者名	柳井市
事業主体名	柳井市	所管名	本土
対象漁港名 (所在地)	伊保庄漁港 柳井市伊保庄		

### 位置図



### 3) 対象漁港一覧

伊保庄漁港（漁港番号 3810160）

漁港種類	第1種	所管	本土	漁港所在地	山口県柳井市 伊保庄
地域指定	半島振興、自然公園				
属地陸揚量	22.6トン	属人陸揚量	22.6トン	属地陸揚金額	17百万円
登録漁船数	52隻	利用漁船数	52隻	利用遊漁船数	5隻
主要な漁業種類	刺網漁業、かご漁業、その他の漁業				
主な魚種	あじ類、かれい類、あなご、たい類、いか類、たこ類				
地区の特徴	<p>伊保庄漁港は、山口県の瀬戸内海側東部に位置し、生物の多様性が高い天然の岩礁など良好な漁場に恵まれた柳井湾一体の沿岸漁業が主体であり、刺し網漁業やたこつぼ漁などが営まれている。</p> <p>伊保庄漁港のある柳井市のまちづくり総合計画では、「種苗の生産・放流や漁礁等の設置、海底清掃などを継続的に実施するとともに、漁港改修や漁業就業者確保、流通の効率化、水産物のブランド化を促進する」ことを基本方針とし、「つくり育てる漁業の展開」、「漁港施設等の整備」、「漁業経営の安定」などが施策の体系として掲げられている。</p>				
水産基盤の役割	<p>本地区では「獲る漁業」から「つくり、育てる漁業」への転換を図るため、水産資源の枯渇化の防止を目的とした稚魚の放流や魚礁の設置など資源管理型漁業への取組が進められている。</p> <p>また、地産地消や子供たちを対象とした魚食普及を推進し、水産物の消費拡大を図っている。</p>				